

は じ め に

国勢調査は、我が国の人口の状況を明らかにし、各種行政施策の基礎資料を得ることを目的として実施する国の最も基本的な統計調査で、1920年（大正9年）の第1回調査以来ほぼ5年ごとに実施しており、今回2005年で18回目となりました。

このたび、人口、世帯及び住居に関する基本的な事項や高齢世帯等について、第1次基本集計結果のうち、本市分についてとりまとめましたので、公表します。

この報告書が行政資料として、また各分野で広く御利用していただければ幸いです。

この報告書を発刊するに当たり、ご協力いただきました市民の皆様をはじめ各関係者の皆様方に厚くお礼申し上げます。

2007年3月

福山市企画総務局企画部情報管理課

目 次

[利用にあたって]

調査の概要	1
結果の表章	2
符号の用法	2
用語の説明	3

[調査結果の概要]

人 口	13
年 齢 別 人 口	16
配 偶 関 係	21
世 帯	24
住 宅	31
外 国 人	32
人口40万人以上の都市	33
広島県市町村別人口状況	34

[図 表]

表1 福山市の人口の推移	13
表2 男女別人口と人口性比の推移	15
表3 年齢(3区分)別人口の推移	16
表4 年齢構成指数の推移	18
表5 年齢(5歳階級),男女別人口と増加率の推移	20
表6 配偶関係(4区分),男女別15歳以上人口の構成比の推移 ...	22
表7 世帯の種類別世帯数及び世帯人員の推移	24
表8 世帯人員別一般世帯数の推移	25
表9 世帯の家族類型別一般世帯数等の推移	25
表10 65歳以上親族のいる一般世帯の持ち家率	27
表11 世帯の家族類型別65歳以上親族のいる一般世帯数の推移	28
表12 年齢(5歳階級),男女別高齢単身世帯数の推移	29
表13 住宅の所有の関係別一般世帯数の推移	31

表14	住宅に住む一般世帯の住宅の所有の関係別 一世帯当たり延べ面積等	31
表15	国籍別外国人人口の推移	32
表16	人口40万人以上の都市	33
表17	広島県市町村別人口	34
図1	福山市の人口増加率の推移	14
図2	福山市の人口の推移	14
図3	年齢構成指数の推移	18
図4	年齢(5歳階級),男女別人口ピラミッドの推移	19

利 用 に あ た っ て

調 査 の 概 要

(1) 調査の沿革

1920年(大正9年)の第1回調査以来ほぼ5年ごとに行われており、今回の調査で18回目に当たります。

(2) 調査の時期

2005年10月1日午前零時現在によって行われました。

(3) 調査の法的根拠

統計法(昭和22年法律第18号)

国勢調査令(昭和55年政令第98号)

国勢調査施行規則(昭和55年総理府令第21号)

国勢調査の調査区の設定の基準等に関する総理府令
(昭和59年総理府令第24号)

(4) 調査の地域

日本全国(歯舞群島,色丹島,国後島,択捉島,竹島を除く地域において行われました。)

(5) 調査の対象

調査時に調査地域に常住する者を世帯単位で調査

(6) 調査系統

国(総務省統計局) - 都道府県 - 市区町村 - 指導員 - 調査員 - 世帯

(7) 調査事項(今回は簡易調査のため)

(世帯員に関する事項)12項目

氏名

男女の別

出生の年月
世帯主との続き柄
配偶の関係
国籍
就業状態
就業時間
所属の事業所の名称及び事業の種類
仕事の種類
従業上の地位
従業地又は通学地

(世帯に関する事項) 5項目

世帯の種類
世帯員の数
住居の種類
住宅の床面積
住宅の建て方

結果の表章

この資料は、2005年10月1日現在で総務省統計局の所管により実施された、「2005年国勢調査」の第1次基本集計結果をとりまとめたものです。

表章形式等については、総務省統計局の第1次基本集計結果(全国編)(人口及び世帯数の確定結果並びに人口、世帯及び住居に関する基本的な事項や高齢世帯等に関する事項)の概要を参考にしています。

なお、年号については、原則として西暦を使用しました。

符号の用法

[...] 不明 [] マイナス [-] 該当数字なし

[0] 単位未満

百分率は、四捨五入で計算していますので、構成比の表示の合計が一致

しないことがあります。

用語の説明

1 人口

国勢調査における人口は「常住人口」であり、常住人口とは調査時に調査の地域に常住（次に該当）している者をいいます。

2 調査の対象と場所

平成17年国勢調査は、調査時において、本邦内に常住している者について行いました。ここで「常住している者」とは、当該住居に3か月以上にわたって住んでいるか、又は住むことになっている者をいい、3か月以上にわたって住んでいる住居又は住むことになっている住居のない者は、調査時現在居た場所に「常住している者」とみなしました。

ただし、次の者については、それぞれ次に述べる場所に「常住している者」とみなしてその場所で調査しました。

学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する学校、第82条の2に規定する専修学校又は第83条第1項に規定する各種学校に在学している者で、通学のために寄宿舍、下宿その他これらに類する宿泊施設に宿泊しているものは、その宿泊している施設

病院又は療養所に引き続き3か月以上入院し、又は入所している者は、その入院先、それ以外の者は3か月以上入院の見込みの有無にかかわらず自宅

船舶（自衛隊の使用する船舶を除く。）に乗り組んでいる者で、陸上に生活の本拠を有するものはその住所、陸上に生活の本拠の無い者はその船舶

なお、後者の場合は、日本の船舶のみを調査の対象とし、調査時に本邦の港に停泊している船舶のほか、調査時前に本邦の港を出港し、途中国外の港に寄港せず調査時後5日以内に本邦の港に入港した船舶について調査しました。

自衛隊の営舎内又は自衛隊の使用する船舶内の居住者は、その営舎又は当該船舶が籍を置く地方総監部（基地隊に配属されている船舶については、その基地隊本部）の所在する場所

刑務所，少年刑務所又は拘置所に収容されている者のうち，死刑の確定した者及び受刑者並びに少年院又は婦人補導院の在院者は，その刑務所，少年刑務所，拘置所，少年院又は婦人補導院本邦内に常住している者は，外国人を含めてすべて調査の対象としたが，次の者は調査から除外しました。

- (1) 外国政府の外交使節団・領事機関の構成員（随員を含む。）及びその家族
- (2) 外国軍隊の軍人・軍属及びその家族

3 面積

本報告書に掲載し，また人口密度の算出に用いた面積は，国土交通省国土地理院が公表した2005年10月1日現在の「平成17年全国都道府県市区町村別面積調」によっています。

4 年齢

年齢は，2005年9月30日現在による満年齢です。
なお，2005年10月1日午前零時に生まれた人は，0歳としました。

5 配偶関係

配偶関係は，届出の有無にかかわらず，実際の状態により，次のとおり区分しました。

- 未婚...まだ結婚をしたことのない人
- 有配偶...届出の有無に関係なく，妻又は夫のある人
- 死別...妻又は夫と死別して独身の人
- 離別...妻又は夫と離別して独身の人

6 国籍

二つ以上の国籍をもつ人については，次のように取り扱いました。

- (1) 日本と日本以外の国の両方の国籍を持つ人...日本
- (2) 日本以外の二つ以上の国籍を持つ人...調査票の国名欄に記入された国

7 世帯

世帯とは、次のものをいいます。

住居及び生計を共にする者の集まり又は独立して住居を維持する単身者

ただし、これらの世帯と住居を共にし、独立して生計を営む単身者で、その世帯の家事又は営業のために使用されるものは、その世帯を構成する者とみなします。

の世帯と住居を共にし、独立して生計を営む単身者

ホテル、旅館、簡易宿泊所、下宿屋その他の営利を目的とする宿泊施設又は従業員のための宿舎に住居のある単身者

及び に該当しない単身者で住居を共にするものの集まり

から までに該当しない単身者

8 世帯の種類

世帯を次のとおり「一般世帯」と「施設等の世帯」に区分しました。

(1) 一般世帯とは次のものをいいます。

住居と生計を共にしている人々の集まり又は一戸を構えて住んでいる単身者

ただし、これらの世帯と住居を共にする単身の住み込みの雇人については、人数に関係なく雇主の世帯に含めました。

上記の世帯と住居を共にし、別に生計を維持している間借りの単身者又は下宿屋などに下宿している単身者

会社・団体・商店・官公庁などの寄宿舍、独身寮などに居住している単身者

(2) 施設等の世帯とは、次のものをいいます。なお、世帯の単位は、原則として次の ~ は棟ごと、 は中隊又は艦船ごと、 は建物ごと、 は一人ひとりです。

寮・寄宿舍の学生・生徒...学校の寮・寄宿舍で起居を共にし、通学している学生・生徒の集まり

病院・療養所の入院者...病院・療養所などに、既に3か月以上入院

している入院患者の集まり

社会施設の入所者...老人ホーム，児童保護施設などの入所者の集まり

自衛隊営舎内居住者...自衛隊の営舎内又は艦船内の居住者の集まり

矯正施設の入所者...刑務所及び拘置所の被収容者並びに少年院及び
婦人補導院の在院者の集まり

その他...定まった住居を持たない単身者や陸上に生活の本拠（住
所）を有しない船舶乗組員など

9 世帯人員及び親族人員

世帯人員とは，世帯を構成する各人（世帯員）を合わせた数をいいます。

親族人員とは，世帯主及び世帯主と親族関係にある世帯員を合わせた数
をいいます。

なお，養子，養父母なども，子，父母と同様にみなして親族としました。

10 世帯の家族類型

一般世帯を，その世帯員の世帯主との続き柄により，次のとおり区分し
ました。

A 親族世帯...二人以上の世帯員からなる世帯のうち，世帯主と親族関
係にある世帯員のいる世帯

なお，その世帯に同居する非親族（住み込みの従業員，家事手伝い
など）がいる場合もこれに含まれます。例えば「夫婦のみの世帯」と
いう場合には，夫婦二人のみの世帯のほか，夫婦と住み込みの家事手
伝いからなる世帯も含まれています。

B 非親族世帯...二人以上の世帯員からなる世帯のうち，世帯主と親族
関係にある者がいない世帯

C 単独世帯...世帯人員が一人の世帯

また，親族世帯をその親族の中で原則として最も若い世代の夫婦とそ
の他の親族世帯員との関係によって，次のとおり区分しました。

核家族世帯

(1) 夫婦のみの世帯

(2) 夫婦とこどもからなる世帯

- (3) 男親と子どもからなる世帯
- (4) 女親と子どもからなる世帯
 - その他の親族世帯
- (5) 夫婦と両親からなる世帯
 - 夫婦と夫の親からなる世帯
 - 夫婦と妻の親からなる世帯
- (6) 夫婦とひとり親からなる世帯
 - 夫婦と夫の親からなる世帯
 - 夫婦と妻の親からなる世帯
- (7) 夫婦，子どもと両親からなる世帯
 - 夫婦，子どもと夫の親からなる世帯
 - 夫婦，子どもと妻の親からなる世帯
- (8) 夫婦，子どもとひとり親からなる世帯
 - 夫婦，子どもと夫の親からなる世帯
 - 夫婦，子どもと妻の親からなる世帯
- (9) 夫婦と他の親族（親，子どもを含まない。）からなる世帯
- (10) 夫婦，子どもと他の親族（親を含まない。）からなる世帯
- (11) 夫婦，親と他の親族（子どもを含まない。）からなる世帯
 - 夫婦，夫の親と他の親族からなる世帯
 - 夫婦，妻の親と他の親族からなる世帯
- (12) 夫婦，子ども，親と他の親族からなる世帯
 - 夫婦，子ども，夫の親と他の親族からなる世帯
 - 夫婦，子ども，妻の親と他の親族からなる世帯
- (13) 兄弟姉妹のみからなる世帯
- (14) 他に分類されない親族世帯

3世代世帯...世帯主との続き柄が，祖父母，世帯主の父母（又は世帯主の配偶者の父母），世帯主（又は世帯主の配偶者），子（又は子の配偶者）及び孫の直系世代のうち，3つ以上の世代が同居していることが判定可能な世帯をいい，それ以外の世帯員がいるか否かは問わない。したがって，4世代以上が住んでいる場合も含まれる。また，世帯主の父母，世帯主，孫のように，子（中間の世代）がいない場合も

含まれる。一方，叔父，世帯主，子のように，傍系の3世代世帯は含まれない。

11 高齢単身世帯・高齢夫婦世帯

高齢単身世帯とは，65歳以上の者一人のみの一般世帯（他の世帯員がいないもの）をいいます。

高齢夫婦世帯とは，夫65歳以上，妻60歳以上の夫婦1組の一般世帯（他の世帯員がいないもの）をいいます。

12 住居の種類

一般世帯について，住居を次のとおり区分しました。

住 宅...一つの世帯が独立して家庭生活を営むことができる永続性のある建物（完全に区画された建物の一部を含む。）

一戸建ての住宅はもちろん，アパート，長屋などのように家庭生活を営むことができるような構造になっている場合は，各区画ごとに一戸の住宅となります。

なお，店舗や作業所付きの住宅もこれに含まれます。

住宅以外...寄宿舍・寮など生計を共にしない単身者の集まりを居住させるための建物や，病院・学校・旅館・会社・工場・事務所などの居住用でない建物

なお，仮小屋・天幕小屋など臨時応急的に造られた住居などもこれに含まれます。

13 住宅の所有の関係

住宅に居住する一般世帯について，住宅の所有の関係を次のとおり区分しました。

（1）主世帯...「間借り」以外の5区分に居住する世帯

持 ち 家...居住する住宅がその世帯の所有である場合

なお，所有する住宅は，登記の有無を問いません。

また，分割払いの分譲住宅などで支払いが完了していない場合も含まれます。

公 営 の 借 家...その世帯の借りている住宅が都道府県営又は市

(区)町村営の賃貸住宅やアパートであって、かつ
給与住宅でない場合

公団・公社の借家...その世帯の借りている住宅が都市再生機構又は
都道府県・市区町村の住宅供給公社・住宅協会・
開発公社などの賃貸住宅やアパートであって、か
つ給与住宅でない場合

なお、これには、雇用・能力開発機構の雇用促
進住宅(移転就職者用宿舎)も含まれます。

民 営 の 借 家...その世帯の借りている住宅が、「公営の借家」、
「公団・公社の借家」及び「給与住宅」でない場合
給 与 住 宅...勤務先の会社・官公庁・団体などの所有又は管
理する住宅に、職務の都合上又は給与の一部とし
て居住している場合

なお、この場合、家賃の支払いの有無を問いま
せん。

また、勤務先の会社又は雇主が借りている一般
の住宅に住んでいる場合も含まれます。

(2)間 借 り...他の世帯が住んでいる住宅(持ち家、公営の借
家、公団・公社の借家、民営の借家、給与住宅)
の一部を借りて住んでいる場合

14 延べ面積

延べ面積とは、各居住室(居間、茶の間、寝室、客間、書斎、応接間、
仏間、食事室など居住用の室)の床面積のほか、その住宅に含まれる玄
関・台所・廊下・便所・浴室・押し入れなども含めた床面積の合計をい
います。

ただし、農家の土間や店舗併用住宅の店・事務室など営業用の部分は延
べ面積には含まれません。また、アパートやマンションなどの共同住宅の
場合は、共同で使用している廊下・階段など共用部分は、延べ面積には含
まれません。

なお、坪単位で記入されたものについては、1坪を3.3㎡に換算しま
した。

15 合併との係わりについて

今回の国勢調査では、旧内海町，旧新市町，旧沼隈町はすでに合併しているため福山市へ含んでいます。神辺町は2005年10月1日現在合併していないため神辺町は含んでいません。

なお、神辺町は参考として掲載しています。

合併年月日

内海町・新市町... 2003年2月3日

沼隈町 ... 2005年2月1日

神辺町 ... 2006年3月1日

調査結果の概要

人 口

(1) 総人口

2005年10月1日現在の福山市の人口は418,509人で前回より39,720人(10.5パーセント)増加しました。福山市はこの間、内海町、新市町、沼隈町と合併しましたが、これら3町を除いても前回より2,986人(0.8%)増加しました。

5年ごとの人口増加率の推移をみますと1933年、1956年の合併等で増加率が伸びている。1947年頃及び、1970年から1975年のいわゆる第1ベビーブーム、第2ベビーブームとよばれましたが、全体的に、福山市の人口は1920年の第1回国勢調査以降、1940年を除き、一貫して増加しています。(表1、図1、図2)

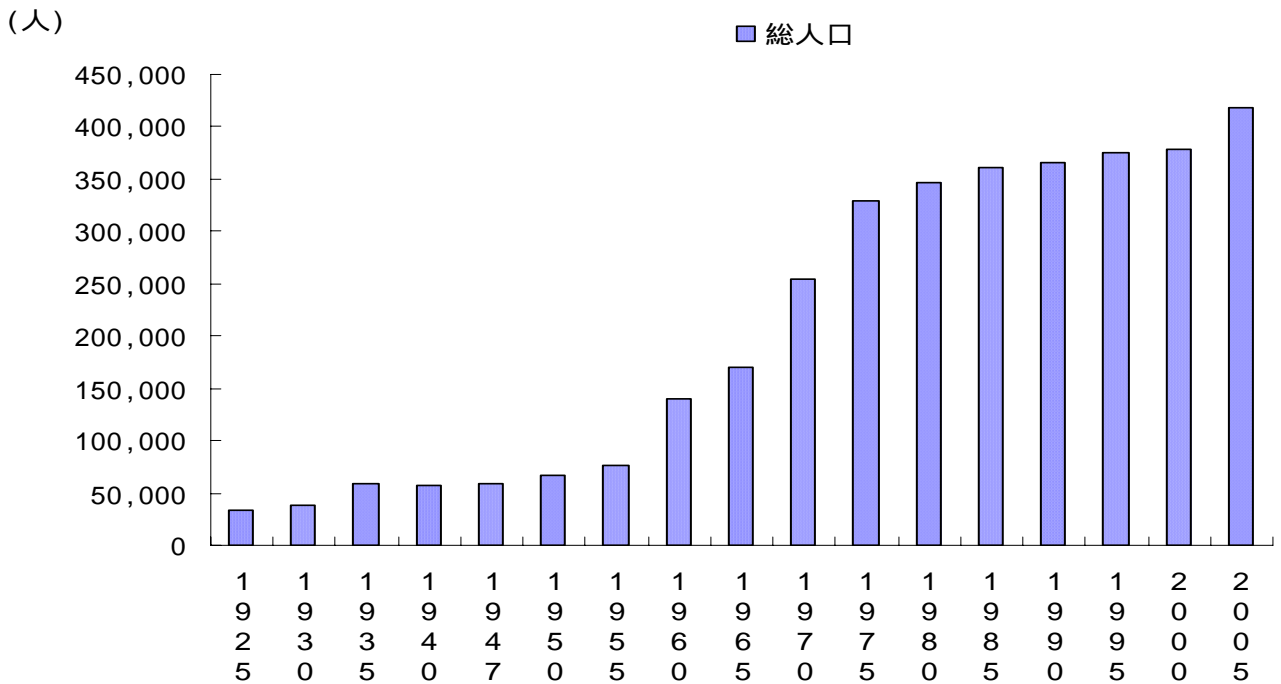
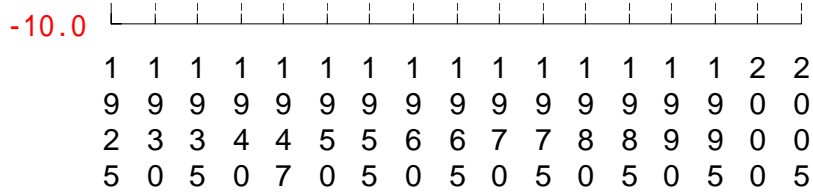
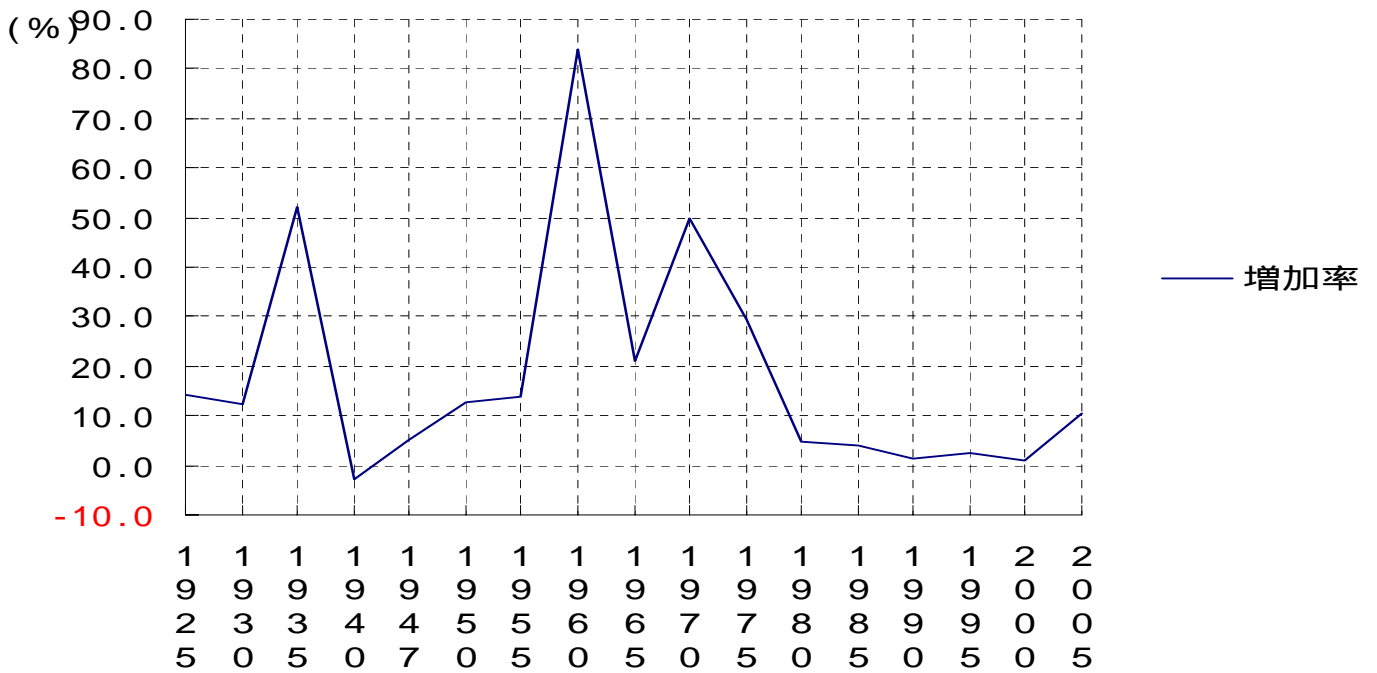
表1 福山市の人口の推移

(単位：人，%，km)

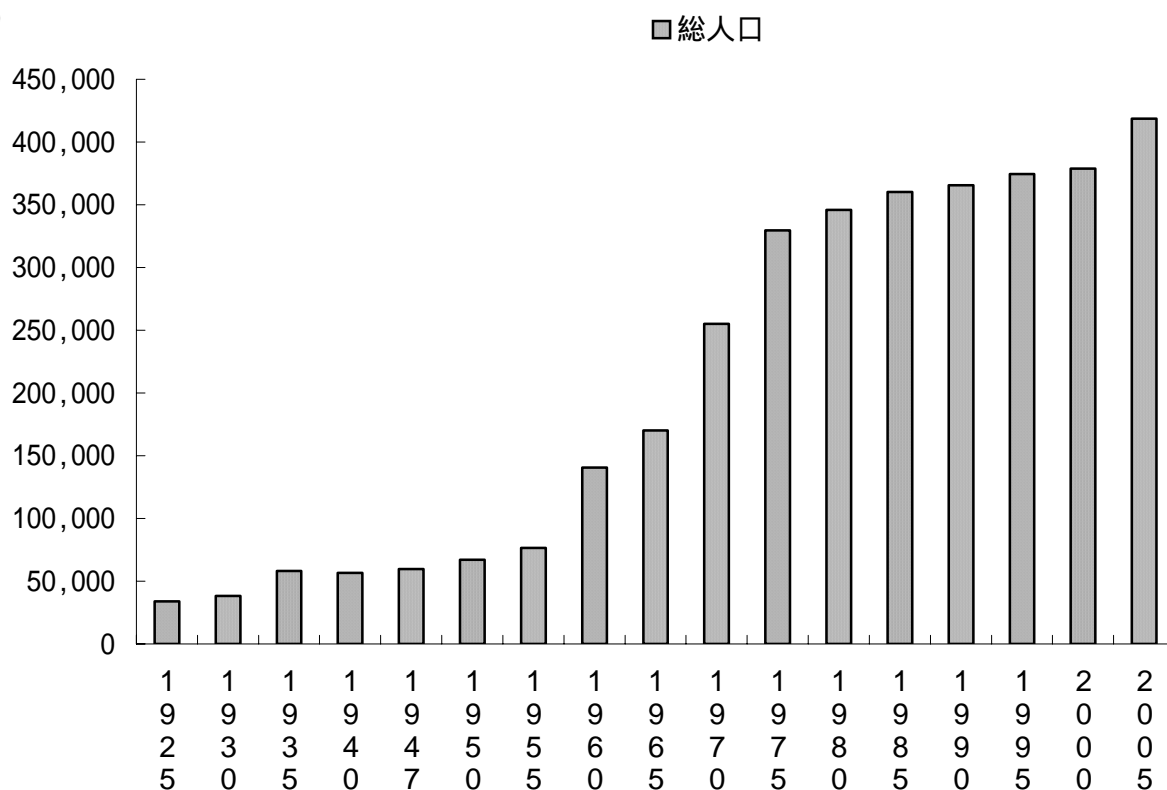
年次・区分	総人口	増加数	増加率	人口指数	人口密度	面積
1920年	29,768	-	-	100.0	5132.4	5.80
1925	34,048	4,280	14.4	114.4	5870.3	5.80
1930	38,215	4,167	12.2	128.4	6588.8	5.80
1935	58,186	19,971	52.3	195.5	1826.9	31.85
1940	56,653	1,533	2.6	190.3	1778.7	31.85
1947	59,576	2,923	5.2	200.1	1464.5	40.68
1950	67,063	7,487	12.6	225.3	1648.5	40.68
1955	76,484	9,421	14.0	256.9	1880.1	40.68
1960	140,603	64,119	83.8	472.3	1031.1	136.36
1965	170,158	29,555	21.0	571.6	1071.8	158.76
1970	255,086	84,928	49.9	856.9	1186.9	214.92
1975	329,714	74,628	29.3	1107.6	910.0	362.33
1980	346,030	16,316	4.9	1162.4	950.2	364.15
1985	360,261	14,231	4.1	1210.2	989.1	364.23
1990	365,612	5,351	1.5	1228.2	1003.2	364.44
1995	374,517	8,905	2.4	1258.1	1027.6	364.47
2000	378,789	4,272	1.1	1272.5	1039.2	364.49
2005	418,509	39,720	10.5	1405.9	907.3	461.26
神辺町	40,578	217	0.5		714.3	56.81

- (注) 1. 各年とも10月1日調査現在における市域での数値です。
 2. 人口指数は、1920年を100としています。
 3. 2005年は、合併後の旧内海町、旧新市町、旧沼隈町を含みます。
 4. 参考として神辺町のみを掲載しています。

図1 福山市の人口増加率の推移



(人)



(単位：人，%)

年次・区分	男		女		人口性比 (女 = 100)
		増加率		増加率	
1920年	14,734	-	15,034	-	98.0
1925	16,921	14.8	17,127	13.9	98.8
1930	19,137	13.1	19,078	11.4	100.3
1935	28,767	50.3	29,419	54.2	97.8
1940	26,970	6.2	29,683	0.9	90.9
1947	28,423	5.4	31,153	5.0	91.2
1950	32,004	12.6	35,059	12.5	91.3
1955	36,447	13.9	40,037	14.2	91.0
1960	66,001	81.1	74,602	86.3	88.5
1965	81,893	24.1	88,265	18.3	92.8
1970	126,165	54.1	128,921	46.1	97.9
1975	163,198	29.4	166,516	29.2	98.0
1980	169,587	3.9	176,443	6.0	96.1
1985	175,636	3.6	184,625	4.6	95.1
1990	177,767	1.2	187,845	1.7	94.6
1995	182,442	2.6	192,075	2.3	95.0
2000	183,983	0.8	194,806	1.4	94.4
2005	201,999	9.8	216,510	11.1	93.3
神辺町	19,628	0.1	20,950	1.1	93.7

(注) 1. 2005年は、合併後の旧内海町，旧新市町，旧沼隈町を含みます。

2. 参考として神辺町のみを掲載しています。

年 齢 別 人 口

(1) 全体の傾向

人口を年齢3区分別にみますと、年少人口(0～14歳)が61,475人、生産年齢人口(15～64歳)が272,282人、老年人口(65歳以上)が82,934人で、前回に比べ年少人口が1,807人(3.0%)増加し、生産年齢人口は15,526人(6.0%)増加し、また老年人口は20,916人(33.7%)増加しました。また、3町合併前の福山市では年少人口56,751人、生産年齢人口249,709人、老年人口73,524人で前回と比べそれぞれ2,917人(4.9%)、7,047人(2.7%)、11,506人(18.6%)となりました。

この結果、本市人口に占める年少人口、生産年齢人口、老年人口の割合は、それぞれ14.7%、65.1%、19.8%となり、前回に比べ、年少人口が1.1ポイント減少し、生産年齢人口も2.7%減少し、老年人口は逆に3.4ポイント増加となりました。また、合併前の福山市ではそれぞれ14.9%、65.4%、19.3%となり前回と比べ年少人口0.9ポイント、生産年齢人口2.4ポイント、減少し、老年人口は2.9ポイント増加となっています。こうした状況から高齢化が一段と加速している状況がうかがえます。また、今回の本市の平均年齢は43.2歳で男性41.7歳、女性44.6歳となっている。この5年間で男性2.2歳、女性2.6歳、全体で2.4歳上昇しました。また、合併前の福山市の平均年齢は42.9歳、で男性41.5歳、女性44.2歳で前回と比べると平均年齢で2.1歳、男性2.0歳、女性2.2歳上昇しました。

(表3)

表3 年齢(3区分)別人口の推移

(単位：人)

年次・区分	人 口				
	総数	0～14歳 (年少人口)	15～64歳 (生産年齢人口)	65歳以上 (老年人口)	75歳以上
1985年	360,261	85,468	239,757	34,998	13,739
1990	365,612	72,923	249,922	41,935	17,225
1995	374,517	64,566	258,340	51,395	20,598
2000	378,789	59,668	256,756	62,018	25,889
2005	418,509	61,475	272,282	82,934	38,353
神辺町	40,578	5,850	26,225	8,498	3,969

(注) 総数には年齢不詳が含まれています。

1. 2005年は、合併後の旧内海町、旧新市町、旧沼隈町を含みます。
2. 参考として神辺町のみを掲載しています。

表3 年齢（3区分）別人口の推移（続き）

（単位：％，人）

年次・区分	人 口 構 成 比				
	総数	0～14歳 (年少人口)	15～64歳 (生産年齢人口)	65歳以上 (老年人口)	75歳以上
1985年	100.0	23.7	66.6	9.7	3.8
1990	100.0	19.9	68.4	11.5	4.7
1995	100.0	17.2	69.0	13.7	5.5
2000	100.0	15.8	67.8	16.4	6.8
2005	100.0	14.7	65.1	19.8	9.2
神辺町	100.0	14.4	64.6	20.9	9.8

年次・区分	人 口 増 加 数				
	総数	0～14歳 (年少人口)	15～64歳 (生産年齢人口)	65歳以上 (老年人口)	75歳以上
1985年	14,231	3,572	12,711	5,180	3,021
1990	5,351	12,545	10,165	6,937	3,486
1995	8,905	8,357	8,418	9,460	3,373
2000	4,272	4,898	1,584	10,623	5,291
2005	39,720	1,807	15,526	20,916	12,464

年次・区分	人 口 増 加 数				
	総数	0～14歳 (年少人口)	15～64歳 (生産年齢人口)	65歳以上 (老年人口)	75歳以上
1990年 / 1985年	1.5	14.7	4.2	19.8	25.4
1995年 / 1990年	2.4	11.5	3.4	22.6	19.6
2000年 / 1995年	1.1	7.6	0.6	20.7	25.7
2005年 / 2000年	10.5	3.0	6.0	33.7	48.1

(注) 1. 2005年は、合併後の旧内海町，旧新市町，旧沼隈町を含みます。

2. 参考として神辺町のみを掲載しています。

表4 年齢構成指数の推移

年次・区分	年少人口指数	老年人口指数	従属人口指数	老年化指数
1985年	35.6	14.6	50.2	40.9
1990	29.2	16.8	46.0	57.5
1995	25.0	19.9	44.9	79.6
2000	23.2	24.2	47.4	103.9
2005	22.6	30.5	53.0	134.9
神辺町	22.3	32.4	54.7	145.3

(注) 1. 年少人口指数 = $\frac{0 \sim 14 \text{ 歳人口}}{15 \sim 64 \text{ 歳人口}} \times 100$

人口の若年化の程度を知る一つの指標

2. 老年人口指数 = $\frac{65 \text{ 歳以上人口}}{15 \sim 64 \text{ 歳人口}} \times 100$

人口の高齢化の程度を知る一つの指標

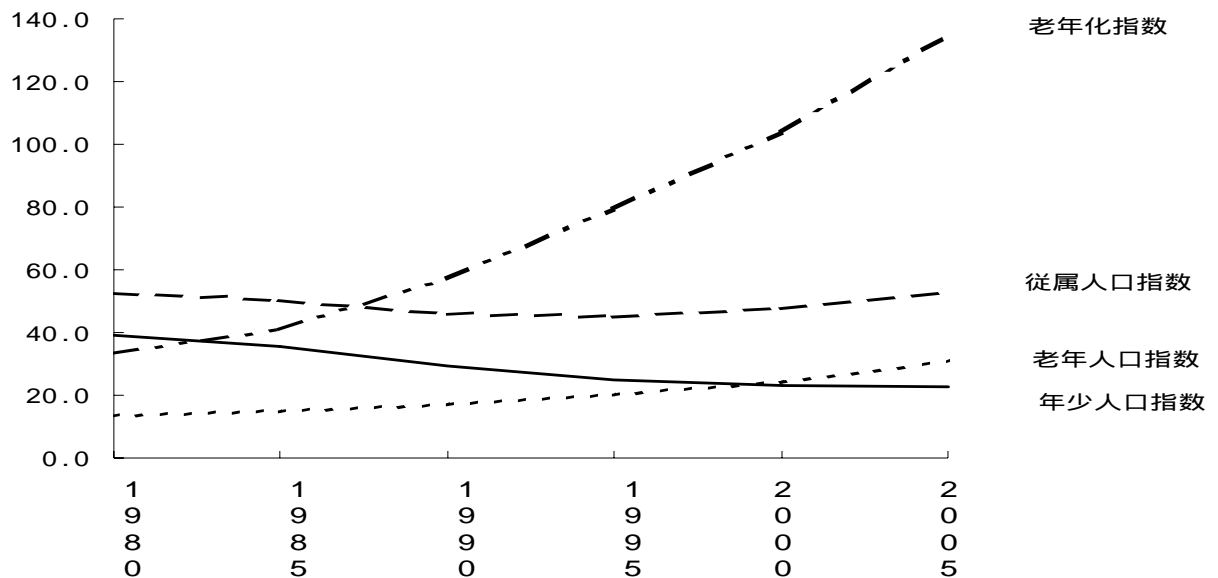
3. 従属人口指数 = $\frac{(0 \sim 14 \text{ 歳人口}) + (65 \text{ 歳以上人口})}{15 \sim 64 \text{ 歳人口}} \times 100$

働き手である生産年齢人口100人が子供と老人をどれだけ養うかを表す指標(扶養負担係数)

4. 老年化指数 = $\frac{65 \text{ 歳以上人口}}{0 \sim 14 \text{ 歳人口}} \times 100$

人口の高齢化の程度を知る一つの指標で、生産年齢人口の多少による影響を除いているため、人口高齢化の程度をより敏感に示します。

図3 年齢構成指数の推移



(4) 人口ピラミッド

人口の年齢（5歳階級）構造の変化を人口ピラミッドで見ますと、次のようになりました。

今回2005年は、55～59歳、30～34歳の第1次、第2次ベビーブーム期の人口を反映した、型になっています、調査ごとに年少人口は減少し、逆に老年人口は増加し、高齢化が着実に進んでいることが分かります。

(図4, 表5)

図4 年齢（5歳階級）、男女別人口ピラミッドの推移

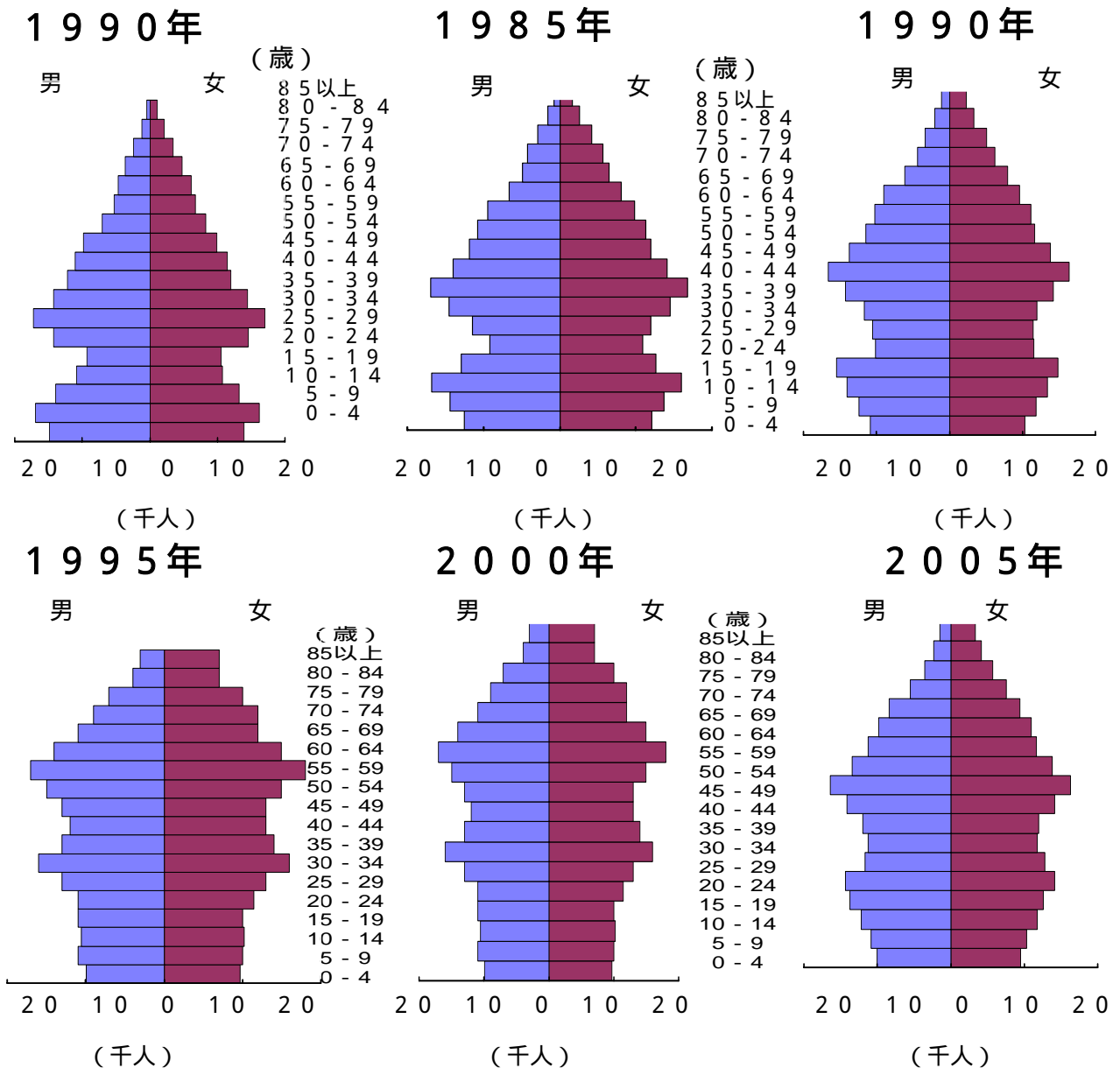


表5 年齢（5歳階級），男女別人口と増加率の推移

（単位：人，％）

区分・年次	男 女 別 人 口											
	1985		1990		1995		2000		2005		神辺町	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
総 数	175,636	184,625	177,767	187,845	182,442	192,075	183,983	194,806	201,999	216,510	19,628	20,950
0～4歳	12,566	12,062	10,797	10,336	9,979	9,494	9,929	9,708	10,251	9,733	956	899
5～9	14,437	13,653	12,413	11,886	10,798	10,323	9,870	9,368	10,553	10,258	989	1,019
10～14	16,726	16,024	14,061	13,430	12,226	11,746	10,572	10,221	10,571	10,109	1,045	942
15～19	12,869	12,663	15,446	14,873	13,684	12,637	11,532	10,950	10,715	10,349	1,014	878
20～24	9,163	10,929	10,102	11,540	14,365	14,125	12,081	11,476	10,660	10,558	932	1,029
25～29	11,403	11,921	10,554	11,481	11,652	12,812	14,804	15,242	13,290	13,449	1,227	1,271
30～34	14,527	14,462	11,689	11,982	11,310	11,825	12,351	12,981	16,165	16,365	1,617	1,539
35～39	16,932	16,815	14,221	14,252	11,937	12,016	11,355	11,745	13,185	13,793	1,189	1,204
40～44	14,006	14,146	16,565	16,449	14,159	14,095	11,814	11,885	12,254	12,555	1,097	1,096
45～49	11,875	11,917	13,690	13,864	16,395	16,323	13,840	13,900	12,627	12,843	1,108	1,206
50～54	10,706	11,317	11,455	11,655	13,470	13,783	15,886	16,058	14,821	15,130	1,370	1,471
55～59	9,455	9,840	10,240	11,175	11,280	11,657	13,070	13,575	17,153	17,514	1,816	1,871
60～64	6,664	8,147	9,038	9,651	9,822	10,993	10,771	11,440	13,987	14,869	1,603	1,687
65～69	4,893	6,546	6,164	7,922	8,402	9,376	9,103	10,611	11,355	12,442	1,265	1,215
70～74	4,153	5,667	4,368	6,256	5,464	7,555	7,496	8,919	9,249	11,535	948	1,101
75～79	2,875	4,172	3,382	5,108	3,546	5,718	4,646	7,008	7,169	9,684	737	983
80～84	1,585	2,645	1,982	3,322	2,363	4,202	2,663	4,906	4,155	7,198	421	760
85以上	778	1,684	1,067	2,364	1,450	3,319	1,977	4,689	2,786	7,361	291	777

区分・年次	増 加 率							
	1990年 / 1985年		1995年 / 1990年		2000年 / 1995年		2005年 / 2000年	
	男	女	男	女	男	女	男	女
総 数	1.2	1.7	2.6	2.3	0.8	1.4	9.8	11.1
0～4歳	14.1	14.3	7.6	8.1	0.5	2.3	3.2	0.3
5～9	14.0	12.9	13.0	13.1	8.6	9.3	6.9	9.5
10～14	15.9	16.2	13.1	12.5	13.5	13.0	0.0	1.1
15～19	20.0	17.5	11.4	15.0	15.7	13.3	7.1	5.5
20～24	10.2	5.6	42.2	22.4	15.9	18.8	11.8	8.0
25～29	7.4	3.7	10.4	11.6	27.1	19.0	10.2	11.8
30～34	19.5	17.1	3.2	1.3	9.2	9.8	30.9	26.1
35～39	16.0	15.2	16.1	15.7	4.9	2.3	16.1	17.4
40～44	18.3	16.3	14.5	14.3	16.6	15.7	3.7	5.6
45～49	15.3	16.3	19.8	17.7	15.6	14.8	8.8	7.6
50～54	7.0	3.0	17.6	18.3	17.9	16.5	6.7	5.8
55～59	8.3	13.6	10.2	4.3	15.9	16.5	31.2	29.0
60～64	35.6	18.5	8.7	13.9	9.7	4.1	29.9	30.0
65～69	26.0	21.0	36.3	18.4	8.3	13.2	24.7	17.3
70～74	5.2	10.4	25.1	20.8	37.2	18.1	23.4	29.3
75～79	17.6	22.4	4.8	11.9	31.0	22.6	54.3	38.2
80～84	25.0	25.6	19.2	26.5	12.7	16.8	56.0	46.7
85以上	37.1	40.4	35.9	40.4	36.3	41.3	40.9	57.0

（注）1．総数は，不詳を含みます。

2．2005年は，合併後の旧内海町，旧新市町，旧沼隈町を含みます。

3．参考として神辺町のみを掲載しています。

配 偶 関 係

(1) 未婚率

15歳以上の配偶関係のうち、未婚率をみますと、男性が27.9%、女性が20.3%で、前回に比べそれぞれ0.7ポイント、0.9ポイント下回りました。

年齢(5歳階級)別にみますと、男性では、15階級中「85歳以上」を除く12の階級で上昇しています。上昇の幅が最も大きいのは「35～39歳」の7.0ポイントで、次いで「40～44歳」の5.9ポイント、「30～34歳」の4.3ポイントの順となっています。

女性では、15階級中「70～74歳」を除く14の階級で未婚率が上昇しており、上昇の幅が最も大きいのは「35～39歳」の5.6ポイントで、次いで「30～34歳」の5.4ポイント、「25～29歳」の4.7ポイントの順となっています。(表6)

(2) 有配偶率等

有配偶率をみますと、男性が64.5%、女性が59.0%で前回に比べそれぞれ0.6ポイント、1.6ポイントの低下となりました。

年齢(5歳階級)別にみますと、男性で低下率が最も大きいのは「35～39歳」で8.2ポイント、次いで「40～44歳」が7.8ポイント、「45～49歳」が5.2ポイントとなっています。

女性では、「35～39歳」が7.6ポイントで最も低下率が高く、次いで「40～44歳」の7.1ポイント、「30～34歳」の6.3ポイントとなっております。

また、死別率はこの20年間、男性2.4～2.9の2%台で推移しているが、女性12.5～14.1%となり今回で上昇している。

離別率につきましては、上昇傾向が続き、この20年間で男性で約2.1倍、女性で約1.8倍となっています。今回、年代別では男性は「55～59歳」、女性では「40～44歳」が一番高くなっています。(表6)

表 〇 婚姻別別 (年次別) , 男女別 15 歳以上人口の構成比の推移

(単位 : %)

区分・年次	未 婚					有 配 偶				
	1985年	1990	1995	2000	2005	1985	1990	1995	2000	2005
男	24.8	26.8	28.8	28.6	27.9	70.9	68.2	65.8	65.1	64.5
15~19歳	99.1	97.9	98.7	99.5	99.5	0.3	0.3	0.4	0.5	0.5
20~24	88.4	88.7	89.7	89.8	90.6	10.9	9.6	9.2	9.9	8.9
25~29	53.8	58.7	61.0	62.6	64.4	45.1	39.4	37.3	36.2	34.3
30~34	20.0	25.5	31.4	38.2	42.5	78.3	72.4	66.1	59.4	54.9
35~39	8.6	12.5	17.3	21.3	28.3	88.6	84.6	79.5	73.8	65.6
40~44	4.0	7.4	11.5	14.0	19.9	92.5	88.5	84.4	80.4	72.6
45~49	2.5	4.0	7.1	10.2	14.1	93.4	91.2	87.5	83.3	78.1
50~54	1.8	2.5	3.8	6.4	10.2	94.0	92.3	89.7	86.0	81.7
55~59	1.3	1.8	2.5	3.4	6.5	93.8	92.4	90.9	88.8	84.2
60~64	0.9	1.3	1.6	2.4	3.1	93.0	92.1	91.0	88.8	87.1
65~69	0.8	1.0	1.2	1.5	2.1	90.6	90.5	89.9	88.7	87.0
70~74	0.5	0.7	0.8	0.9	1.3	86.0	88.4	87.8	87.2	85.8
75~79	0.8	0.6	0.6	0.8	0.8	79.2	82.0	84.4	82.7	83.4
80~84	0.4	0.9	0.6	0.5	0.8	66.4	71.8	75.3	78.7	77.1
85歳以上	0.5	0.7	0.7	0.9	0.3	48.8	53.4	59.5	60.5	63.6
女	18.6	20.6	21.6	21.2	20.3	65.5	63.0	61.4	60.6	59.0
15~19歳	98.3	97.5	98.1	98.7	98.9	1.1	1.1	1.1	1.2	1.0
20~24	76.1	80.5	81.6	82.9	84.4	23.0	17.6	16.8	15.9	14.1
25~29	21.5	31.9	42.4	47.5	52.2	76.6	65.2	54.4	49.1	44.1
30~34	6.0	9.3	15.4	22.9	28.3	90.3	87.1	80.0	71.5	65.2
35~39	4.2	4.3	6.9	11.2	16.8	90.4	90.1	87.5	80.8	73.2
40~44	3.2	3.6	4.2	6.1	10.3	89.2	88.9	88.3	85.3	78.2
45~49	3.0	2.9	3.7	4.0	6.0	86.8	87.2	86.9	85.6	82.0
50~54	2.6	2.6	2.9	3.4	3.9	84.2	84.2	84.4	84.1	83.4
55~59	2.4	2.6	2.6	2.8	3.1	79.5	80.0	80.1	81.6	81.2
60~64	2.0	2.4	2.4	2.5	2.8	69.3	74.1	75.4	75.7	77.2
65~69	1.2	1.8	2.3	2.3	2.4	54.7	62.0	66.6	68.7	69.1
70~74	1.1	1.0	1.9	2.3	2.2	41.0	45.5	51.5	57.1	59.9
75~79	0.8	1.0	1.1	1.8	2.2	27.8	31.3	33.7	39.9	46.1
80~84	0.5	0.7	0.9	1.0	1.6	15.9	17.2	19.2	23.3	27.0
85歳以上	0.5	0.5	0.7	1.0	1.1	5.4	6.4	7.1	7.6	9.4

表6 配偶関係（4区分）、男女別15歳以上人口の構成比の推移（続き）

（単位：％）

区分・年次	死 別					離 別				
	1985年	1990	1995	2000	2005	1985年	1990	1995	2000	2005
男	2.4	2.4	2.5	2.6	2.9	1.7	2.0	2.4	2.8	3.5
15～19歳	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.3	0.5
25～29	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.7	1.0	1.1	1.3
30～34	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	1.4	1.5	1.8	2.2	2.5
35～39	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	2.4	2.3	2.6	3.3	4.0
40～44	0.5	0.5	0.4	0.3	0.3	2.9	3.1	3.3	3.7	5.4
45～49	0.9	0.9	0.8	0.7	0.6	3.0	3.7	4.1	4.3	5.4
50～54	1.5	1.4	1.4	1.3	0.9	2.6	3.5	4.6	5.0	5.5
55～59	2.6	2.6	2.3	2.3	1.9	2.2	2.9	3.9	4.5	5.7
60～64	4.2	4.0	3.8	3.6	3.2	1.8	2.4	3.2	4.0	5.0
65～69	6.8	6.5	6.2	6.0	5.1	1.7	1.8	2.4	2.8	4.2
70～74	11.8	9.2	9.5	8.6	8.4	1.6	1.5	1.7	2.1	2.7
75～79	18.7	15.7	13.2	13.8	12.3	1.2	1.3	1.5	1.3	1.8
80～84	32.2	26.0	23.2	18.1	18.1	0.9	0.8	0.6	1.2	1.3
85歳以上	49.5	44.2	39.0	35.0	32.5	1.2	0.7	0.6	0.7	1.0
女	12.5	12.2	12.5	12.7	14.1	3.2	3.5	4.0	4.8	5.7
15～19歳	0.0	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
20～24	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.4	0.6	0.9	1.1	1.4
25～29	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	1.6	2.0	2.5	3.1	3.5
30～34	0.5	0.3	0.3	0.3	0.2	3.1	3.2	3.9	5.2	6.0
35～39	0.9	0.9	0.6	0.7	0.5	4.4	4.4	4.8	6.6	8.2
40～44	2.4	1.6	1.5	1.2	1.1	5.1	5.6	5.8	6.7	9.3
45～49	4.8	3.7	2.7	2.4	2.3	5.3	5.8	6.5	7.3	8.5
50～54	8.4	7.2	5.9	4.4	3.9	4.6	5.5	6.4	7.4	8.0
55～59	13.7	12.1	10.7	8.2	6.8	4.3	4.8	6.2	6.5	7.8
60～64	24.2	18.7	17.0	14.9	12.3	4.5	4.2	4.7	5.9	6.7
65～69	40.4	31.4	26.4	23.3	21.4	3.4	4.1	4.2	4.6	5.7
70～74	55.2	49.5	41.9	35.4	32.1	2.4	3.0	4.0	3.8	4.4
75～79	69.2	64.1	61.6	52.6	46.7	1.8	2.2	2.9	3.9	3.4
80～84	81.2	78.4	77.7	70.7	66.4	1.9	1.7	1.5	2.6	3.1
85歳以上	92.5	89.7	89.3	86.5	85.0	1.1	1.6	1.7	1.7	2.1

世 帯

(1) 世帯数の推移

福山市の世帯数は155,099世帯、一世帯当たり人員は2.70人となり、世帯数は前回と比べると19,853世帯(14.7%)増加しました。合併前の福山市の世帯数は142,669世帯一世帯当たり人員は2.68人で前回と比べると7,453世帯(5.5%)増加となりました。

また、世帯数は毎回増加傾向にあります。しかし、逆に一世帯当たり人員は1935年4.95人を最高に今回は2.70人で1955年より毎回減少傾向にあります。(表7)

(2) 一般世帯

一般世帯数は153,220世帯で、総世帯の98.8%を占め前回と比べると18,390世帯(13.6%)増加し、その世帯人員は409,884人で総人口の97.9%を占め増加数、増加率とも前を上回りました。また、合併前の福山市の一般世帯は140,839世帯で総世帯の98.7%を占め前回と比べると7,839世帯(4.5%)増加し、その世帯人員は373,846人で総人口の97.9%を占めています。

また、世帯数が増加し続ける一方で、一世帯当たり人員は2.68人と前を0.09人下回っています。また、合併前の福山市では一世帯当たり人員は2.62人と前を0.15人下回り、核家族化傾向が一段と進んでいます。前回の世帯人員別では、1~3人の世帯数は増加傾向にあり、4人以上の世帯数は1990年以降減少傾向にありましたが、今回は1~5人の世帯数は増加しています。(表7,表8)

表7 世帯の種類別世帯数及び世帯人員の推移

(単位：世帯，人，%)

年次・区分		総世帯							
		世帯数	世帯人員	一世帯当たり人員	一般世帯			施設等の世帯	
					世帯数	世帯人員	一世帯当たり人員	世帯数	世帯人員
実数	1990年	116,785	365,612	3.13	115,986	360,891	3.11	142	3,891
	1995	127,607	374,517	2.93	127,287	370,429	2.91	134	3,872
	2000	135,246	378,789	2.80	134,830	373,960	2.77	158	4,482
	2005	155,099	418,509	2.70	153,220	409,884	2.68	255	6,807
	神辺町	13,629	40,578	2.98	13,605	40,081	2.95	19	492
増加数	1995年	10,822	8,905	0.20	11,301	9,538	0.20	8	19
	2000	7,639	4,272	0.13	7,543	3,531	0.14	24	610
	2005	19,853	39,720	0.10	18,390	35,924	0.09	97	2,325
増加率	1995年/1990年	9.3	2.4	6.25	9.7	2.6	6.47	5.6	0.5
	2000年/1995年	6.0	1.1	4.57	5.9	1.0	4.69	18	16
	2005年/2000年	14.7	10.5	3.66	13.6	9.6	3.55	61	52

(注) 1. 2005年は、合併後の旧内海町，旧新市町，旧沼隈町を含みます。

2. 参考として神辺町のみを掲載しています。

表8 世帯人員別一般世帯数の推移

(単位：世帯，%)

年次・区分		総数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上
実数	1990年	115,986	22,850	23,914	21,854	25,979	11,711	6,403	3,275
	1995	127,287	29,304	29,209	24,595	24,472	10,908	5,823	2,976
	2000	134,830	32,637	34,322	26,712	23,798	9,886	5,021	2,454
	2005	153,220	39,134	41,187	30,390	25,380	10,042	4,800	2,287
	神辺町	13,605	2,395	3,847	2,863	2,468	1,077	636	319
構成比	1990年	100.0	19.7	20.6	18.8	22.4	10.1	5.5	2.8
	1995	100.0	23.0	22.9	19.3	19.2	8.6	4.6	2.3
	2000	100.0	24.2	25.5	19.8	17.7	7.3	3.7	1.8
	2005	100.0	25.5	26.9	19.8	16.6	6.6	3.1	1.5
	神辺町	100.0	17.6	28.3	21.0	18.1	7.9	4.7	2.4
増加率	1995年/1990年	9.7	28.2	22.1	12.5	5.8	6.9	9.1	9.1
	2000年/1995年	5.9	11.4	17.5	8.6	2.8	9.4	13.8	17.5
	2005年/2000年	13.6	19.9	20.0	13.8	6.6	1.6	4.4	6.8

(注) 1. 2005年は、合併後の旧内海町，旧新市町，旧沼隈町を含みます。

2. 参考として神辺町のみを掲載しています。

3) 家族類型別一般世帯数

一般世帯を家族類型別にみますと、「親族世帯」は113,431世帯(一般世帯の74.0%)で、前回に比べ11,723世帯(11.5%)増加しました。「親族世帯」のうち「核家族世帯」は90,490世帯(一般世帯の59.1%)で、前回に比べ10,121世帯(12.6%)増加しました。また、「単独世帯」は39,134世帯(一般世帯の25.5%)で、前回に比べ6,497世帯(19.9%)増加しました。1990年以降の「親族世帯」のなかでの構成比の推移をみますと、「夫婦と子供からなる」世帯が毎回平均約2%台の範囲で低下し、「夫婦のみの」世帯は上昇傾向にあります。また、「その他の親族世帯」は、22,941世帯(一般世帯の15.0%)で、前回に比べ1,602世帯(7.5%)増加しました。(表9)

表9 世帯の家族類型別一般世帯数等の推移

(単位：世帯)

世帯の家族累計・年次	一般世帯数				
	1990年	1995	2000	2005	神辺町
総数	115,986	127,287	134,830	153,220	13,605
A 親族世帯	92,914	97,637	101,708	113,431	11,182
核家族世帯	70,351	75,339	80,369	90,490	8,389
夫婦のみの世帯	18,626	22,753	26,478	31,353	2,981
夫婦と子供からなる世帯	44,362	44,071	43,862	46,468	4,257
男親(女親)と子供からなる世帯	7,363	8,515	10,029	12,669	1,151
その他の親族世帯	22,563	22,298	21,339	22,941	2,793
B 非親族世帯	222	346	485	655	28
C 単独世帯	22,850	29,304	32,637	39,134	2,395
(再掲)三世帯世帯	16,193	15,372	16,098	16,833	2,128

(注) 1. 2005年は、合併後の旧内海町，旧新市町，旧沼隈町を含みます。

2. 参考として神辺町のみを掲載しています。

表9 世帯の家族類型別一般世帯数等の推移（続き）

（単位：％，世帯）

世帯の家族累計・年次	構 成 比				
	1990年	1995	2000	2005	神辺町
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
A 親 族 世 帯	80.1	76.7	75.4	74.0	82.2
核家族世帯	60.7	59.2	59.6	59.1	61.7
夫婦のみの世帯	16.1	17.9	19.6	20.5	21.9
夫婦と子供からなる世帯	38.2	34.6	32.5	30.3	31.3
男親(女親)と子供からなる世帯	6.3	6.7	7.4	8.3	8.5
その他の親族世帯	19.5	17.5	15.8	15.0	20.5
B 非 親 族 世 帯	0.2	0.3	0.4	0.4	0.2
C 単 独 世 帯	19.7	23.0	24.2	25.6	17.6
(再掲)三世帯世帯	14.0	12.1	11.9	11.0	15.6

世帯の家族累計・年次	増 加 数		
	1995年	2000	2005
総 数	11,301	7,543	18,390
A 親 族 世 帯	4,723	4,071	11,723
核家族世帯	4,988	5,030	10,121
夫婦のみの世帯	4,127	3,725	4,875
夫婦と子供からなる世帯	291	209	2,606
男親(女親)と子供からなる世帯	1,152	1,514	2,640
その他の親族世帯	265	959	1,602
B 非 親 族 世 帯	124	139	170
C 単 独 世 帯	6,454	3,333	6,497
(再掲)三世帯世帯	821	726	735

世帯の家族累計・年次	増 加 率		
	1995年 1990年	2000年 1995年	2005年 2000年
総 数	9.7	5.9	13.6
A 親 族 世 帯	5.1	4.2	11.5
核家族世帯	7.1	6.7	12.6
夫婦のみの世帯	22.2	16.4	18.4
夫婦と子供からなる世帯	0.7	0.5	5.9
男親(女親)と子供からなる世帯	15.6	17.8	26.3
その他の親族世帯	1.2	4.3	7.5
B 非 親 族 世 帯	55.9	40.2	35.1
C 単 独 世 帯	28.2	11.4	19.9
(再掲)三世帯世帯	5.1	4.7	4.6

(注) 1. 2005年は、合併後の旧内海町，旧新市町，旧沼隈町を含みます。

2. 参考として神辺町のみを掲載しています。

(4) 65歳以上親族のいる世帯

持ち家率は、「65歳以上親族のいる一般世帯」では86.0%と高率で、ここ15年間86%以上である。「65歳以上の親族のいない一般世帯」の割合は47.9%となっており、「65歳以上親族のいる一般世帯」は1.8倍になっています。

65歳以上親族のいる一般世帯は近年の高齢化を反映や、3町合併のため55,083世帯で36.0%を占め、前回に比べ12,937世帯(30.7%)増加しました。

このうち、「夫婦のみの世帯」は14,757世帯(26.8%)で前回に比べ、3,970世帯(1.2%)増加し、「単独世帯」は11,017世帯(20.0%)で前回に比べ、3,692世帯(2.6%)増加し、この2区分で46.8%になります。

一方「三世帯世帯」は、14,233世帯(25.8%)で前回に比べ、722世帯(32.1%)増加していますが、構成比では6.3%低下しています。(表10,表11)

表10 65歳以上親族のいる一般世帯数の持ち家率

(単位：世帯，%)

区分・年次	1995年		2000		2005		神辺町	
	持ち家世帯数		持ち家世帯数		持ち家世帯数		持ち家世帯数	
	持ち家率	持ち家率	持ち家率	持ち家率	持ち家率	持ち家率	持ち家率	
一般世帯	75,339	59.2	80,252	59.5	94,344	61.6	10,464	76.9
65歳以上親族のいる一般世帯	31,331	87.3	36,304	86.1	47,369	86.0	5,303	94.4
65歳以上親族のいない一般世帯	44,008	48.1	43,948	47.4	46,975	47.9	5,161	69.3

(注) 1. 2005年は、合併後の旧内海町，旧新市町，旧沼隈町を含みます。

2. 参考として神辺町のみを掲載しています。

表 1 1 世帯の家族類型別 65 歳以上親族のいる一般世帯数の推移

(単位：世帯，人，%)

世帯の家族累計・年次	65歳以上親族のいる一般世帯数					構 成 比				
	1990年	1995	2000	2005	神辺町	1990年	1995	2000	2005	神辺町
65歳以上親族のいる一般世帯数	29,948	35,871	42,146	55,083	5,617	100.0 (25.8)	100.0 (28.2)	100.0 (31.3)	100.0 (36.0)	100.0 (41.3)
A 親 族 世 帯	25,988	30,516	34,778	43,975	4,886	86.8	85.1	82.5	79.8	87.0
核家族世帯	8,898	12,641	17,189	24,805	2,523	29.7	35.2	40.8	45.0	44.9
うち夫婦のみの世帯	5,714	8,191	10,787	14,757	1,469	19.1	22.8	25.6	26.8	26.2
その他の親族世帯	17,090	17,875	17,589	19,170	2,343	57.1	49.8	41.7	34.8	41.7
B 非 親 族 世 帯	30	37	43	91	2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.0
C 単 独 世 帯	3,930	5,318	7,325	11,017	749	13.1	14.8	17.4	20.0	13.3
(再掲) 三世帯世帯	12,452	12,630	13,511	14,233	1,797	41.6	35.2	32.1	25.8	32.0
65歳以上親族のいる一般世帯人員	109,704	121,727	130,395	157,282	17,813	30.4	32.9	34.9	38.4	44.4
うち夫婦のみの世帯人員	11,462	16,401	21,588	29,523	2,940	3.2	4.4	5.8	7.2	7.3
65歳以上親族人員	40,098	49,414	59,309	78,083	8,094	11.1	13.3	15.9	19.1	20.2
うち夫婦のみの世帯人員	9,249	13,512	18,494	25,801	2,513	2.6	3.6	4.9	6.3	6.3

世帯の家族累計・年次	増 加 数			増 加 率		
	1995年 1990年	2000年 1995年	2005年 2000年	1995年 1990年	2000年 1995年	2005年 2000年
	65歳以上親族のいる一般世帯数	5,923	6,275	12,937	19.8	17.5
A 親 族 世 帯	4,528	4,262	9,197	17.4	14.0	26.4
核家族世帯	3,743	4,548	7,616	42.1	36.0	44.3
うち夫婦のみの世帯	2,477	2,596	3,970	43.3	31.7	36.8
その他の親族世帯	785	286	1,581	4.6	1.6	9.0
B 非 親 族 世 帯	7	6	48	23.3	16.2	111.6
C 単 独 世 帯	1,388	2,007	3,692	35.3	37.7	50.4
(再掲) 三世帯世帯	178	881	722	1.4	7.0	5.3
65歳以上親族のいる一般世帯人員	12,023	8,668	26,887	11.0	7.1	20.6
うち夫婦のみの世帯人員	4,939	5,187	7,935	43.1	31.6	36.8
65歳以上親族人員	9,316	9,895	18,774	23.2	20.0	31.7
うち夫婦のみの世帯人員	4,263	4,982	7,307	46.1	36.9	39.5

- (注) 1. ()の数値は、一般世帯数に占める65歳以上親族のいる一般世帯数の割合です。
 2. 65歳以上親族のいる一般世帯人員及び65歳以上親族人員の割合は、一般世帯人員に占める割合です。
 3. 2005年は、合併後の旧内海町，旧新市町，旧沼隈町を含みます。
 4. 参考として神辺町のみを掲載しています。

(5) 高齢単身世帯

65歳以上の高齢単身世帯は11,017世帯で、前回より3,692世帯増加しています。男女別では、男性は2,953世帯で「65～69歳」区分が最も多く、女性では8,064世帯で「70～74歳」区分が最も多くなっており、女性が総数に対し73.2%を占めており、女性が男性の約2.7倍となっています。

前回に対する増加率を男女別で比較してみますと、男性は「80～84歳」区分が高くなり、女性は全ての年齢区分で増加しており年齢が高くなる区分ほど増加傾向となっています。高齢男性の約12人に1人、高齢女性の約6人に1人が一人暮らしとなっています。

(表12)

表12 年齢(5歳階級)、男女別高齢単身世帯数の推移

(単位：世帯)

年次・区分		高 齢 単 身 世 帯					
		総 数	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
1990年		3,930	1,251	1,117	880	478	204
1995		5,318	1,645	1,447	1,121	739	366
2000		7,325	2,050	1,934	1,663	1,018	660
2005		11,017	2,763	2,819	2,452	1,832	1,151
神辺町		749	161	169	205	130	84
男	1990年	714	234	164	155	112	49
	1995	1,081	430	264	168	138	81
	2000	1,767	583	490	356	183	155
	2005	2,953	943	757	597	411	245
	神辺町	185	53	42	49	22	19
女	1990年	3,216	1,017	953	725	366	155
	1995	4,237	1,215	1,183	953	601	285
	2000	5,558	1,467	1,444	1,307	835	505
	2005	8,064	1,820	2,062	1,855	1,421	906
	神辺町	564	108	127	156	108	65

(注) 1. 2005年は、合併後の旧内海町，旧新市町，旧沼隈町を含みます。

2. 参考として神辺町のみを掲載しています。

1 2 年齢（5歳階級），男女別高齢単身世帯数の推移（続き）

（単位：％，世帯）

年次・区分		年齢階級別人口による構成比					
		総数	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
1990年		9.4	8.9	10.5	10.4	9.0	5.9
1995		10.3	9.3	11.1	12.1	11.3	7.7
2000		10.3	9.3	10.6	11.7	11.2	8.8
2005		13.3	11.6	13.6	14.5	16.1	11.3
神辺町		8.8	6.5	8.2	11.9	11.0	7.9
男	1990年	4.2	3.8	3.8	4.6	5.7	4.6
	1995	5.1	5.1	4.8	4.7	5.8	5.6
	2000	6.8	6.4	6.5	7.7	6.9	7.8
	2005	8.5	8.3	8.2	8.3	9.9	8.8
	神辺町	5.1	4.2	4.4	6.6	5.2	6.5
女	1990年	12.9	12.8	15.2	14.2	11.0	6.6
	1995	14.0	13.0	15.7	16.7	14.3	8.6
	2000	15.4	13.8	16.2	18.7	17.0	10.8
	2005	16.7	14.6	17.9	19.2	19.7	12.3
	神辺町	11.7	8.9	11.5	15.9	14.2	8.4

年次・区分		増加数					
		総数	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
1995年		1,388	394	330	241	261	162
2000		2,007	405	487	542	279	294
2005		3,692	713	885	789	814	491
男	1995年	367	196	100	13	26	32
	2000	686	153	226	188	45	74
	2005	1,186	360	267	241	228	90
女	1995年	1,021	198	230	228	235	130
	2000	1,321	252	261	354	234	220
	2005	2,506	353	618	548	586	401

年次・区分		増加率					
		総数	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
1995年 / 1990年		35.3	31.5	29.5	27.4	54.6	79.4
2000年 / 1995年		37.7	24.6	33.7	48.3	37.8	80.3
2005年 / 2000年		50.4	34.8	45.8	47.4	80.0	74.4
男	1995年 / 1990年	51.4	83.8	61.0	8.4	23.2	65.3
	2000年 / 1995年	63.5	35.6	85.6	111.9	32.6	91.4
	2005年 / 2000年	67.1	61.7	54.5	67.7	124.6	58.1
女	1995年 / 1990年	31.7	19.5	24.1	31.4	64.2	83.9
	2000年 / 1995年	31.2	20.7	22.1	37.1	38.9	77.2
	2005年 / 2000年	45.1	24.1	42.8	41.9	70.2	79.4

（注）1．2005年は，合併後の旧内海町，旧新市町，旧沼隈町を含みます。

2．参考として神辺町のみを掲載しています。

住 宅

住宅の所有関係別の構成比をみますと、「持ち家」が一般世帯の61.6%を占め、次いで「民営の借家」が27.7%、「給与住宅」が3.7%、「公営・公社・公団の借家」が3.5%の順となっています。また、合併前の福山市も同様の順であり、60.3%、29.4%、3.6%、3.6%となっている。

前回と比較しますと、「持ち家」が14,092世帯(17.6%)増加する一方で、「民営の借家」も3,332世帯(8.5%)増加を示しています。また、合併前の福山市でも「持ち家」が4,743世帯(5.9%)、「民営の借家」も2,231世帯(5.7%)増加している。(表13)

一人当たり延べ面積は38.2㎡(合併前福山市37.6㎡)で、これを所有関係別にみますと、持ち家44.5㎡、給与住宅24.3㎡、民営の借家23.1㎡、間借り21.2㎡、公営・公団公社の借家20.2㎡の順になっています。また、合併前の福山市では、それぞれ44.1㎡、24.8㎡、23.0㎡、21.3㎡、20.4㎡となっています。前回と比べ一人当たり延べ面積は、間借り以外は拡大しています。(表14)

表13 住宅の所有の関係別一般世帯数の推移

(単位：世帯，%)

年次・区分	一般世帯	住宅に住む						住宅以外 に住む 一般世帯	
		一般世帯	持ち家	公営・公団 公社の借家	民営の借家	給与住宅	間借り		
実数	1995年	127,287	124,153	75,339	5,087	36,962	5,985	780	3,134
	2000	134,830	131,773	80,252	5,092	39,184	5,787	1,458	3,057
	2005	153,220	149,581	94,344	5,425	42,516	5,734	1,562	3,639
	神辺町	13,605	13,379	10,464	212	2,304	246	153	226
構成比	1995年	100.0	97.5	59.2	4.0	29.0	4.7	0.6	2.5
	2000	100.0	97.7	59.5	3.8	29.0	4.3	1.1	2.3
	2005	100.0	97.6	61.6	3.5	27.8	3.7	1.0	2.4
	神辺町	100.0	98.3	76.9	1.6	16.9	1.8	1.1	1.7
増加率	2000年/1995年	5.9	6.1	6.5	0.1	6.0	3.3	86.9	2.5
	2005年/2000年	13.6	13.5	17.6	6.5	8.5	0.9	7.1	19.0

表14 住宅に住む一般世帯の住宅の所有の関係別一世帯当たり延べ面積等

(単位：㎡)

年次・区分	住宅に住む 一般世帯	持ち家	公営・公団 公社の借家	民営の借家	給与住宅	間借り
一世帯当たり延べ面積						
1995年	95.3	128.3	45.7	42.2	58.2	35.1
2000	100.8	134.5	47.7	46.7	59.5	53.2
2005	103.6	135.4	49.3	48.0	58.3	46.4
神辺町	122.0	141.8	35.8	52.3	48.7	55.3
一人当たり延べ面積						
1995年	32.2	37.7	16.6	19.7	21.8	17.1
2000	35.9	42.0	18.3	22.3	23.7	23.8
2005	38.2	44.5	20.2	23.1	24.3	21.2
神辺町	41.0	44.6	15.4	23.3	22.6	22.2

(注) 1. 2005年は、合併後の旧内海町、旧新市町、旧沼隈町を含みます。

2. 参考として神辺町のみを掲載しています。

外国人

外国人人口は3,873人で、前回に比べ1,141人(41.8%)と大きく増加しました。総人口に占める割合は、0.9%になり、前回に比べ0.2%増加となり毎回増加しています。また、広島県内でみますと27,178人で前回に比べ4,065人、17.6%増加し、国内でみますと、1,555,505人で前回に比べ244,960人、18.7%増加しています。

国籍別では、中国が1,479人(構成比38.2%)、韓国・朝鮮が843人(同21.8%)次いでブラジルが639人(同16.5%)順となっています。前回と比べますと、中国は819人(124.1%)フィリピンが292人(166.9%)と大幅な増加を示しています。(表15)

表15 国籍別外国人人口の推移

(単位：人，%)

年次・区分	外国人 数						
	総 数	韓国・朝鮮	中 国	アメリカ	その他	フィリピン	ブラジル
1985年	* 1,207	1,050	61	19	38
1990	1,381	1,045	164	54	* 118	49	...
1995	* 1,917	932	431	52	477	94	299
2000	* 2,732	952	660	32	1,073	175	732
2005	3,873	843	1,479	43	* 202	467	639
神辺町	255	15	164	1	* 12	15	32

年次・区分	構 成 比						
	総 数	韓国・朝鮮	中 国	アメリカ	その他	フィリピン	ブラジル
1985年	100.0	87.0	5.1	1.6	3.1
1990	100.0	75.7	11.9	3.9	8.5	3.5	...
1995	100.0	48.6	22.5	2.7	24.9	4.9	15.6
2000	100.0	34.8	24.2	1.2	39.3	6.4	26.8
2005	100.0	21.8	38.2	1.1	5.2	12.1	16.5
神辺町	100.0	5.9	64.3	0.4	4.7	5.9	12.5

年次・区分	増 加 数						
	総 数	韓国・朝鮮	中 国	アメリカ	その他	フィリピン	ブラジル
1990年	174	5	103	35	80
1995	536	113	267	2	359	45	...
2000	815	20	229	20	596	81	433
2005	1,141	109	819	11	871	292	93

年次・区分	増 加 率						
	総 数	韓国・朝鮮	中 国	アメリカ	その他	フィリピン	ブラジル
1990年	14.4	0.5	168.9	184.2	210.5
1995	38.8	10.8	162.8	3.7	304.2	91.8	...
2000	42.5	2.1	53.1	38.5	124.9	86.2	144.8
2005	41.8	11.4	124.1	34.4	81.2	166.9	12.7

(注) 1. *は、不詳を含みます。

2. 2000年までは「フィリピン」・「ブラジル」はその他へ含めていましたが、2005年からその他へ含んでおりません。

3. 2005年は、合併後の旧内海町，旧新市町，旧沼隈町を含みます。

4. 参考として神辺町のみを掲載しています。

人口40万人以上の都市

全国の人口40万人以上の都市は、今回の調査で43都市でありました。福山市は、人口418,509人で、今回の順位は40位、人口増加は39,720人で増加率は、10.5%でした。(表16)

(特別区 1・政令指定都市 15・中核市 19・その他 8)

表16 人口40万人以上の都市

(単位:人,%)

都市名・年次・区分	政令指定都市・中核市	2005年	2005年順位	2000年	2000年順位	増加数	増加率
特別区	部	8,489,653	1	8,134,688	1	354,965	4.4
横浜市	政令指定都市	3,579,628	2	3,426,651	2	152,977	4.5
大阪市	政令指定都市	2,628,811	3	2,598,774	3	30,037	1.2
名古屋市	政令指定都市	2,215,062	4	2,171,557	4	43,505	2.0
札幌市	政令指定都市	1,880,863	5	1,822,368	5	58,495	3.2
神戸市	政令指定都市	1,525,393	6	1,493,398	6	31,995	2.1
京都市	政令指定都市	1,474,811	7	1,467,785	7	7,026	0.5
福岡市	政令指定都市	1,401,279	8	1,341,470	8	59,809	4.5
川崎市	政令指定都市	1,320,011	9	1,249,905	9	70,106	5.6
さいたま市	政令指定都市	1,176,314	10	1,133,300	2003.4.1指定日	43,014	3.8
広島市	政令指定都市	1,154,391	11	1,126,239	10	28,152	2.5
仙台市	政令指定都市	1,025,098	12	1,008,130	12	16,968	1.7
北九州市	政令指定都市	993,525	13	1,011,471	11	17,946	1.8
千葉市	政令指定都市	924,319	14	887,164	13	37,155	4.2
堺市	政令指定都市	830,966	15	792,018	14	38,948	4.9
浜松市	中核市	804,032	16	582,095	18	221,937	38.1
新潟市	中核市	785,134	17	501,431	23	283,703	56.6
静岡市	政令指定都市	700,886	18	469,695	27	231,191	49.2
岡山市	中核市	674,746	19	626,642	16	48,104	7.7
熊本市	中核市	669,603	20	662,012	15	7,591	1.1
相模原市	中核市	628,698	21	605,561	17	23,137	3.8
鹿児島市	中核市	604,367	22	552,098	19	52,269	9.5
船橋市	中核市	569,835	23	550,074	20	19,761	3.6
王子市	中核市	560,012	24	536,046	21	23,966	4.5
松山市	中核市	514,937	25	473,379	26	41,558	8.8
大塚市	中核市	513,821	26	515,094	22	1,273	0.2
姫路市	中核市	482,304	27	478,309	25	3,995	0.8
川崎市	中核市	480,079	28	460,027	30	20,052	4.4
戸田市	中核市	472,576	29	464,841	29	7,735	1.7
倉敷市	中核市	469,377	30	430,291	37	39,086	9.1
川崎市	中核市	466,608	31	448,642	33	17,966	4.0
西宮市	中核市	465,337	32	438,105	35	27,232	6.2
分室市	中核市	462,647	33	466,187	28	3,540	0.8
大宮市	中核市	462,317	34	436,470	36	25,847	5.9
宇都宮市	中核市	457,673	35	443,808	34	13,865	3.1
津市	中核市	454,607	36	456,438	31	1,831	0.4
長崎市	中核市	442,699	37	423,167	39	19,532	4.6
横須賀市	中核市	426,178	38	428,645	38	2,467	0.6
富山県	中核市	421,239	39	325,700	62	95,539	29.3
福山市	中核市	418,509	40	378,789	45	39,720	10.5
豊田県	中核市	412,141	41	351,101	54	61,040	17.4
町田市	中核市	405,534	42	377,536	42	27,998	7.4
枚方市	中核市	404,044	43	402,563	41	1,481	0.4

(注) 1. 2005年10月1日現在の合併等による人口です。

2. 2000年の数値は、市町村等の合併により現在の市域に組替えておりません。

広島県市町村別人口状況（表17）

表17 広島県市町村別人口

（単位：人）

市町名	2005年総数	増減	2000年総数	増減	1995年総数
広島県	2,876,642	2,273	2,878,915	2,833	2,881,748
市部	2,612,458	3,256	2,609,202	1,088	2,608,114
郡部	264,184	5,529	269,713	3,921	273,634
広島市	1,154,391	20,257	1,134,134	17,017	1,117,117
中区	127,763	3,044	124,719	3,641	128,360
東区	121,222	2,036	123,258	1,571	124,829
南区	137,874	2,407	135,467	2,741	138,208
西区	184,795	5,276	179,519	681	178,838
安佐南区	219,343	14,707	204,636	19,222	185,414
安佐北区	152,716	3,671	156,387	2,308	154,079
安芸区	76,656	1,221	75,435	893	74,542
佐伯区	134,022	691	134,713	1,866	132,847
呉市	251,003	8,221	259,224	10,955	270,179
竹原市	30,657	1,278	31,935	1,516	33,451
三原市	104,196	2,033	106,229	2,388	108,617
尾道市	114,486	2,921	117,407	2,172	119,579
因島市	26,677	1,510	28,187	2,113	30,300
福山市	418,509	1,962	416,547	2,733	413,814
府中市	45,188	2,509	47,697	2,659	50,356
三次市	59,314	2,321	61,635	1,275	62,910
庄原市	43,149	2,529	45,678	2,861	48,539
大竹市	30,279	1,126	31,405	1,445	32,850
東広島市	184,430	9,084	175,346	10,193	165,153
廿日市市	87,144	83	87,061	2,499	84,562
安芸高田市	33,096	1,343	34,439	1,382	35,821
江田島市	29,939	2,339	32,278	2,588	34,866
安芸郡	117,371	1,012	118,383	288	118,095
府中町	50,732	59	50,673	3	50,676
海田町	29,137	905	30,042	5	30,047
熊野町	25,103	289	25,392	439	24,953
坂町	12,399	123	12,276	143	12,419
佐伯郡	28,386	466	27,920	109	28,029
大野町	26,442	715	25,727	216	25,511
宮島町	1,944	249	2,193	325	2,518
山県郡	29,095	2,015	31,110	1,605	32,715
安芸太田町	8,238	943	9,181	1,076	10,257
北広島町	20,857	1,072	21,929	529	22,458
豊田郡	18,298	1,439	19,737	1,128	20,865
瀬戸田町	9,062	544	9,606	405	10,011
大崎上島町	9,236	895	10,131	723	10,854
世羅郡	18,866	824	19,690	1,045	20,735
世羅町	18,866	824	19,690	1,045	20,735
深安郡	40,578	217	40,361	384	39,977
神辺町	40,578	217	40,361	384	39,977
神石郡	11,590	922	12,512	706	13,218
神石高原町	11,590	922	12,512	706	13,218

2000年以前の人口は、2005年10月1日現在の市町で再計算しています。

